

急速に進む北極温暖化と国際・地域社会への影響

日時 2023 年 3 月 10 日（金）13:30-18:30

会場 国立極地研究所 3 階セミナー室

東京都立川市緑町 10-3 <https://www.nipr.ac.jp/outline/summary/access>

形式 ハイブリッド（オンラインは Zoom）

言語 英語（研究者向け）

主催 情報・システム研究機構国立極地研究所／協力 北極域研究加速プロジェクト（ArCS II）

本 WS は、地球科学、文化人類学、国際法などの社会科学など、異なる分野の研究者が集まり、地球上で現在最も急速に進行する北極域の温暖化に関する最新の科学的知見とその国際的・地域的影響や課題について、俯瞰的かつ統合的に議論を行い、今後の日本の北極研究が目指すべき方向性を探ることを目的としています。先住民を含む地域コミュニティとのネットワークの構築・強化も見据え、海外から研究者を招へいして議論します。

●セッション内容と主な出演者

Session 1：グリーンランドにおける近年の気候変化と住民の暮らし

13:35-14:35

Navarana K'avigak' Sørensen（イヌイト文化伝承者）、青木輝夫（国立極地研究所）

モデレーター：的場澄人（北海道大学）

Session 2：北極温暖化の先住民社会への影響と食文化

14:45-16:15

Victoria Peemot（ヘルシンキ大学）

モデレーター：近藤祉秋（神戸大学）、大石侑香（神戸大学）

Session 3：北極温暖化に対応する法・政策と先住民族・地域社会

16:35-18:05

Rune Fjellheim（元サーミ評議会北極・環境ユニット長）

Dalee Sambo Dorough（アラスカ大学アンカレッジ校、前イヌイト環北極評議会議長、2022 年 IASC メダリスト）

Timo Koivurova（ラップランド大学）

コーディネーター：小坂田裕子（中央大学）、モデレーター：木村ひとみ（大妻女子大学）

写真提供：Navarana K'avigak' Sørensen

■申込先（会場定員 40 名、参加費無料）

国立極地研究所国際北極環境研究センター WEB からお申し込みください。

<https://www.nipr.ac.jp/aerc/>

締切：2023 年 3 月 5 日（日）

お問い合わせ先：aerc-kikaku@nipr.ac.jp



極地研